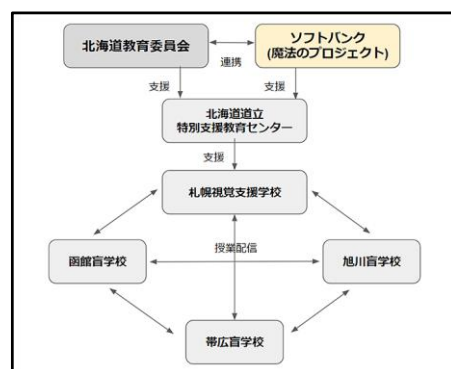


新型コロナウイルス感染症の拡大防止等のため、対面による学校間の交流は難しくなっていますが、ICTを活用することにより、遠く離れた学校の子ども同士がオンラインで交流することができるようになります。今号では、道内の特別支援学校における「魔法のプロジェクト」の取組を紹介します。



## 盲学校4校の取組への支援

道教委は令和3年度からソフトバンク株式会社と連携し、視覚障がい教育の専門的支援・指導の維持が課題となっている盲学校4校をオンラインでつなぎ、双方で交流可能な遠隔授業を行うことで、障がいをもつ子どもたちへ専門性の高い教育を目指す実践研究を進めています。



## ICTの活用法を交流する合同授業

盲学校4校をオンラインでつなぎ、中学部の総合的な学習の時間にICT活用について交流する合同授業を実施し、9名の生徒が参加しました。

生徒からは「他校の生徒の話聞く機会があまりないので楽しかった」「他校の生徒がどのように活用しているのか知ることができて面白かった」「まだ行っていない活用方法があってとても勉強になった」などの感想が聞かれました。



札幌、函館、旭川、帯広と距離を超えて生徒たちが会話を交わし情報交流

## 魔法のプロジェクト

魔法のプロジェクトは、スマートフォンやタブレットなどの携帯情報端末を教育現場に貸与し、障がいのある子どもの学びや生活を支援する実践研究プロジェクトです。ソフトバンク(株)と東京大学先端科学技術研究センターが共同で平成21年から実施し、これまでに延べ700校が参加しています。



<https://maho-prj.org/>

# 今号のコラム

## オホーツク教育局の取組【初めてのICT研修】

クラウドサービスを初めて活用する教員を対象とした「初めてのICT研修」を令和3年12月17日(金)に北見北斗高等学校を会場に行われました。高等学校では、令和4年度から1人1台端末の活用が始まりますが、一方で「タブレットを使ったことがない」「クラウドを体験したい」という声があったことから、参加対象を初心者の教員に限定し、各自に割り当てられているアカウントで、Googleにログインするところから研修を行いました。



「ドキュメント」や「スプレッドシート」などのクラウドアプリ体験やマイドライブと共有ドライブの使い方、「Classroom」体験、「Jamboard」を用いて参加者同士の意見交換も行いました。最後に「Forms」で結果がリアルタイムで反映される様子やデータの使用方法について確認しました。参加者からは「クラウドについて何も知らなかったので、とても役立ちました」「共有の仕組みが分からなかったので勉強になりました」などの感想が聞かれました。

## 情報通信技術支援員等に係る道内市町村の配置状況と活用事例

ICT教育推進課では、情報通信技術支援員(ICT支援員)やGIGAスクールサポーターに係る道内市町村の配置状況と活用事例について、リーフレットを作成しました。

本リーフレットでは、北広島市教育委員会や美瑛町教育委員会、由仁町教育委員会の活用事例等を掲載していますので、ぜひ参考にしてください。

また、ICT活用サポートデスクでは、情報通信技術支援員等の人材確保等に係る相談を受け付けていますので、御活用ください。



リーフレットは  
[こちら](#)



ICT教育推進課のページ



[まずはこちらへ!](#)

ICT活用ポータルサイト



[最新情報が満載!](#)

「みんなで研修」プログラム



[短時間でICT活用を学べます!](#)

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

